(桜川市行政評価システム) 記入年月日 令和 2年度 事務事業評価表( 令和元年度 の実績評価) 令和 月 事業区分 事務事業名 ホームページ運用事業 新規/継続 継続 事務事業No. 060101000873 単独/補助 政策体系上の位置付け 単独 010101 所属課 総合計画の施策名 0601 市民協働のまちづくり 秘書広報課 06 みんなで築く自治のまちづくり 課長名グループ 策 政策名 体 01 市民協働のまちづくり 秘書広報G 施策名 系 手段名 01 ①広報広聴の充実 担当者名 財務会計上の位置付け 事業期 会計 款 項 目 事業 細 一般会計 単年度繰返し ( 平成17 年度~) 予算科目 □→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 01 02 01 04 01 00 広報広聴事業 法令根拠 事務事業の現状把握(その1) (Do) (1)事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 コンテンツ管理システムの保守管理業務委託、桜川コミュニティサイト 保守管理業務、桜川デジタルコミュニティミュージアム保守管理業務、 情報メールー斉配信サービス保守管理業務、電子学習システム保守管理 平成21年4月1日施行の桜川市公式ホームページ運営要項やガイドラインに | 十級と「サイカ」ロ応引の位別にない、一ムペーン連名要項やカイトラインに基づき、掲載する情報等の全体管理、コンテンツ管理システムやその他のWE Bサービス(桜川コミュニティサイト、桜川市デジタルコミュニティミュージアム、情報メールー斉配信サービス、電子学習システム、大会となり、の様だの方法によった。 業務、コンテンツ管理システムの操作研修、twitter、facebookペー ページ)の積極的な活用を促し、提供することで掲載情報の充実を図る。 ジ、問合せ対応. 段

	27	市政司	事業の手段・対象・	き回 レタ 形描	・ 七垣店の供:	₹Ø								
			日当者の活動内容)	思凶と台指标			表す指標)		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	O4年度 (目標)
C	SM	の保守	保守管理業務委託、桜川コミュニ		ホームページ	の更新件	数			2,242.00	2,246.00	2,300.00	2,350.00	2,400.00
ティサイト・桜川デジタルコミミュージアム・情報メール一斉				ミュニティ						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ス	ス・電子学習システム保守管理業務、CS Mの操作研修、twitter、facebook、問合 せ対応									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
せ										0,00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	②対象 (誰、何を対象にしているのか)				⑤対象指標	(対象の大	てきさを表す指	標)	単位	30年度 (実績)	O1年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	O4年度 (目標)
	ホームページを利用する市民及び市外の人				ホームページ よる集計)	アクセス	件数(更新口	]グに	件		1,988,047.00			
ホ·					スマートフォ	ンアクセ	ス件数			662,974.00	676,030.00	680,000.00	685,000.00	690,000.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)				⑥成果指標 (対象における意図の達成度 を表す指標)			単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	O4年度 (目標)	
					ホームページ の割合	から市政	情報を得てい	る人	%	20.10	22.10	23.00	24.00	25.00
ŧ,					(市民アンケ	<b>-</b>  - - -				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
\/\\\										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(					30年度 O1年度 (実績)		02年度 (計画)					明間限定 総投入量		
		-	国庫支出金県支出金	千円		0	0			0				0
投	事業費	財源	地方債	千円		0	0			0				0
		内	内 使用料・手数料 千円		0.0	0	0			0				0
入		訳	その他 一般財源	千円	29 1,09	_	396 408			270 536				0
	H	事	事業費計(A)	千円	1,39		804			806				0
		正	正規職員従事人数  人		2.00人 2.00人 2		2	2.00人						
量														
	O1年度事業費 実績(千円)								)2年度事業費	   予算(千円)	)			
	13 委託料 804							13 委	託料		806			
事														
業費														
の														
内														
訳														
					合富	t	804					合	計	806

古双古光力	+ / 40 >***	<b>第四声</b> 类	古·25-古-24-11	60404000070								
事務事業名	ホームページ	■用事業 は、いつ頃どんな経緯で開始	事務事業№. 場合れたのか? 関始時期を	60101000873	所属課 変わったのか?	秘書広報課						
平成17年10月、 ティサイト、桜川市 平成23年度はTO	市町村合併後、「 デジタルコミュ」 Pページリニュー	は、いっぱとかな社解と用が たのサーバーに現ホームペーニティミュージアム、情報> ーアル、SNS(twitter,fa もの掲載を開始した。	- ジを設置。平成18年度3 メールー斉配信サービス、電	t面改修とカニCMSの導入 電子学習システム等のコンテ	、を行う。その後							
平成24年1月に桜 年11月開設された	川市のfacebook 、twitterも含め	民、議会、事業対象者、利 パページが開設された。その 、多くの市民が登録し、利 る様どのように取り組んでい	)行事などの情報発信がされ 用することが望ましい。市!	ているが、今後どのように	利用していくの							
【See】 2. 評価の部	*原則は	事前評価。	評価項目									
改りの要合	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)											
革 改善 結びついている												
善 ② 公共関与の妥当性	公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)											
う 妥当である	<u>妥当である</u> 行政の情報伝達手段として、また、市民の行政情報収集手段として必要不可欠なものである。											
③ 成果の向上余地	成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)											
向上余地がある	<u>向上余地がある</u> アンケート機能による利用者からの要望を分析し、掲載情報の改善を行う。											
<ul><li>④廃止・休止の成果</li><li>有</li></ul>	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)											
<ul><li>効 影響有性</li></ul>	影響有 ホームページの運用を廃止してしまうと、行政情報の発信手段がなくなってしまい、市民サービスの低下に繋がる。											
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) □ 具体的な手段、事務事業名											
余地がない	金地がない   他に類似事業がないため、統廃合・連携は出来ない。											
<b></b>	⑥事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)											
率 性 削減余地がない	削減余地がない複数年契約の導入により更新サポート費用の軽減を図っており、削減の余地はない。											
② 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)												
平性 公正・公平である	自治体の	のホームページは誰もが無料	4でアクセスできるもので、	受益者負担はなじまない。								
	果の総括と今後の しての評価結果	)方向性(次年度計画と予算	『への反映)  (2) 全体総括(振り)』	豆り、反省点)								
①目的妥当性 ■ ②有効性 □ ③効率性 ■ ④公平性 ■	適切 □ 適切 □ 適切 □ □	見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり	桜川市公式ホームページル る状態です。	で を 各課に依頼し、CMS上の								
(3) 今後の事業の方向	]性		(複数回答可)			改善による期待成果						
□終了 ■系		牧革改善を行う→	] 目的の再設定   有効性の改善	□ 効率性の改善 □ 公平性の改善 □ 連携ができる		コスト 削減 維持 増加						
		すべき課題(壁)とその解			自上	0						
アンケート機能による利用者からの要望を分析して掲載情報の改善を行い、利用者ニーズに沿ったホームページの作成を 目指します。 成 継												
					(6)事務事	業優先度評価結果 ⑤						
【Check】 4. 確認	及び改革改善に向	回けての指摘事項	1/0									
(1) 課長評価 課長確認後の評価			(2) 部長確認及び	評価(課長評価により、	し、D判定及び確	脳か必要な場合)						
A:継続	(現状維持) (改革改善を行う	C:終了、廃止、休止 ) D:2次評価へ提出	在記欄									